



2014年度(平成27年3月期)  
第3四半期 決算説明会

エーザイ株式会社

2015年1月30日

*h/c*  
human health care

# 将来見通しに関する注意事項



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

## 2014年度 戦略の眼目 成長回帰に向けた 戦略的資源投入の断行

グローバルブランド\*1の育成

プロダクト クリエーション\*2の加速

ストラテジックマーケット\*3の拡大



## 第3四半期までの 成果と課題

BELVIQ、Fycompa 育成の遅れ

プロダクト クリエーション\*2は  
概ね計画通り進展

グローバルブランド\*1が  
順調に申請、上市を達成

\*1 Halaven、Fycompa、BELVIQ、Lenvatinib(承認前製品につき一般名で記載)  
\*3 ロシア、ブラジル、メキシコ、カナダ、オーストラリア

\*2 Halaven、Fycompa、BELVIQ、Lenvatinib、E2006、BAN2401、E2609、Avatrombopag

# 第3四半期累計連結業績と通期業績見通しのポイント



## 通期業績見通し 5月開示のポイント

- 売上収益 前期比94%、営業利益 前期比80%、当期利益 前期比91%
- 費用投入が先行、下期から成長回帰へ
- 配当150円を維持

## 第3四半期累計連結業績のポイント

- 日本医薬品事業 想定以上のジェネリック浸透による計画からの遅れ  
第3四半期から上昇基調へ
- BELVIQ、Fycompa 育成の遅れ
- 為替影響による売上収益、研究開発費の増加と営業利益の減少
- 米国子会社の資本の払戻しの結果による税金費用の減少

## 通期業績見通し 今回の修正のポイント

- 5月開示見通し並みの売上収益を確保、営業利益は未達へ
- 当期利益の5月開示見通しの達成により配当150円を堅持

# 2014年度第3四半期累計 連結業績(IFRS)



(億円、%)

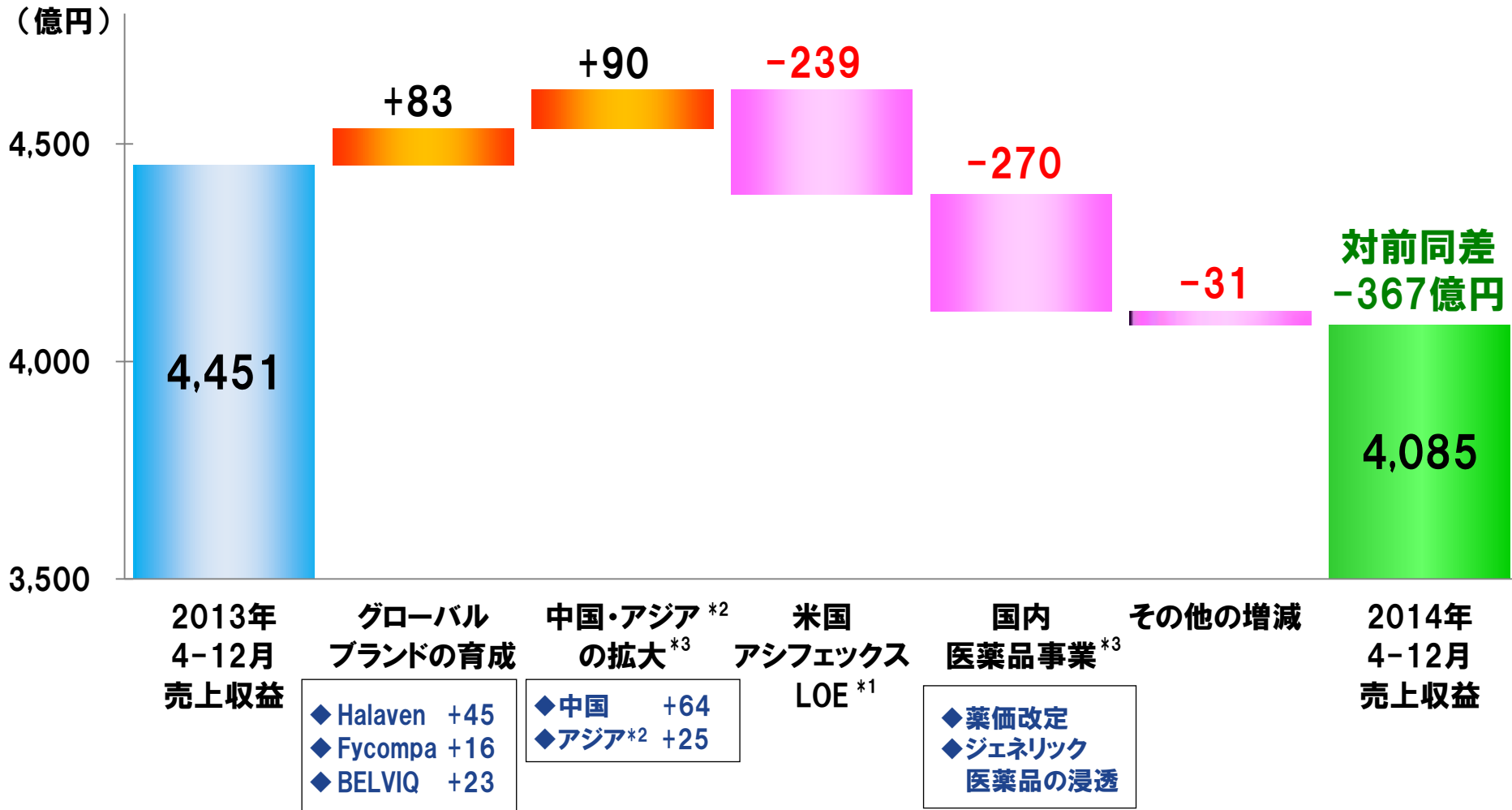
	2013年4-12月		2014年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	4,451	100.0	4,085	100.0	92
売上原価	1,475	33.1	1,431	35.0	97
売上総利益	2,977	66.9	2,654	65.0	89
研究開発費	1,034	23.2	979	24.0	95
販売管理費	1,518	34.1	1,434	35.1	94
その他の損益	27	0.6	△3	△0.1	
営業利益	451	10.1	238	5.8	53
四半期利益	280	6.3	368	9.0	132
Pharma EBIT*	1,486	33.4	1,217	29.8	82

\* Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

2014年度第3四半期期中平均レート: 米ドル:106.87円(前期変動率+7.5%)、ユーロ:140.30円(同+6.1%)、ポンド:175.57円(同+12.6%)

# 売上収益の増減要因分析

## 米国アシフェックスLOE<sup>\*1</sup>、国内事業の環境変化



\* 増減要因の数値は概数

\*1 Loss of exclusivity : 独占期間満了

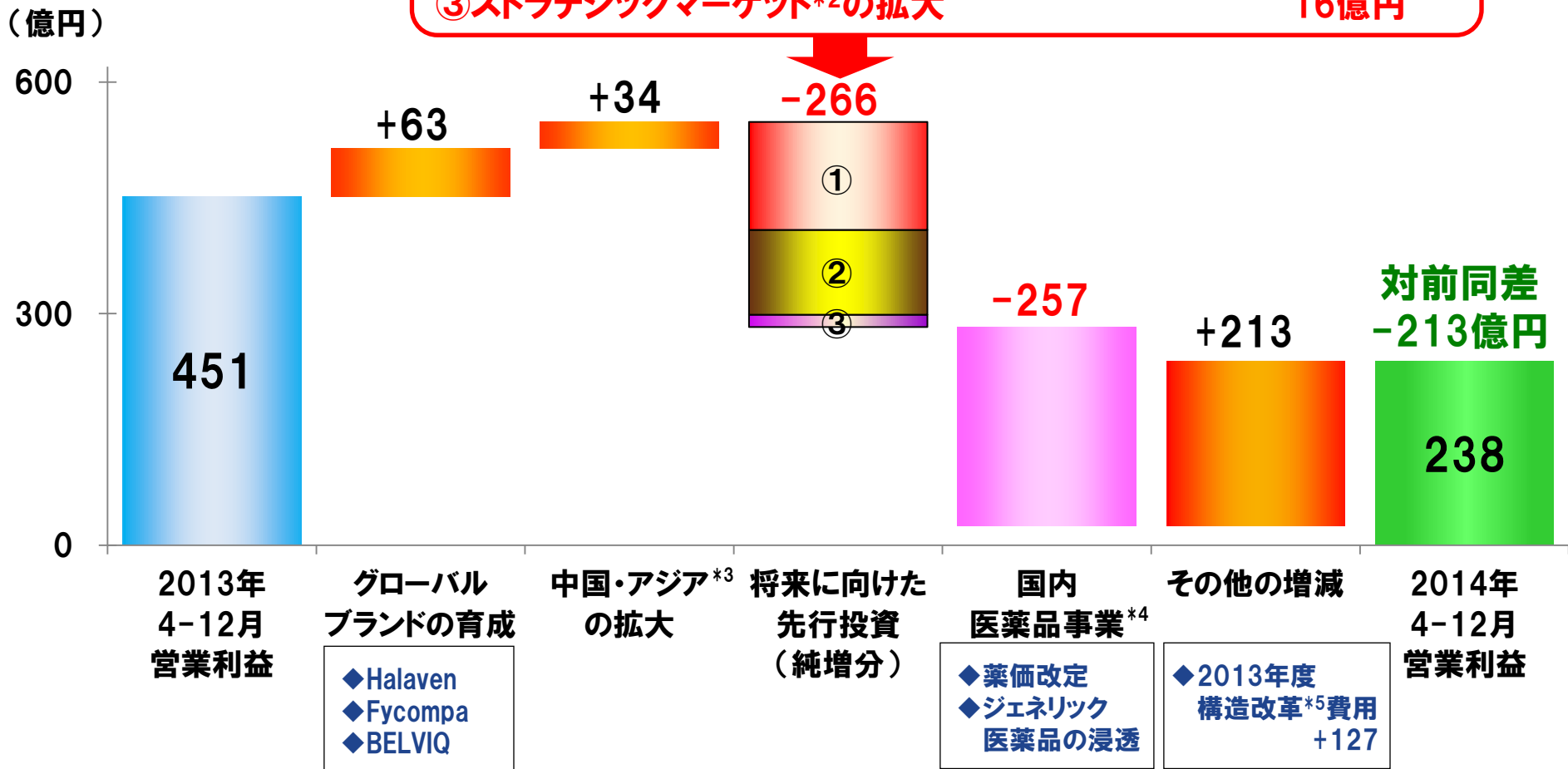
\*2 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

\*3 グローバルブランドの実績は除く

# 営業利益の増減要因分析

## 2015年度以降の急伸拡大を企図した資源投入

- ①グローバルブランドの育成 140億円
- ②プロダクト クリエーション優先8パイプライン\*1の加速 110億円
- ③ストラテジックマーケット\*2の拡大 16億円



\* 増減要因の数値は概数

\*1 Halaven, Fycompa, BELVIQ, Lenvatinib, E2006, BAN2401, E2609, Avatrombopag \*2 ロシア、ブラジル、メキシコ、カナダ、オーストラリア

\*3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等 \*4 グローバルブランドの実績は除く \*5 欧米における研究開発体制の改編、美里工場の事業譲渡、希望退職募集

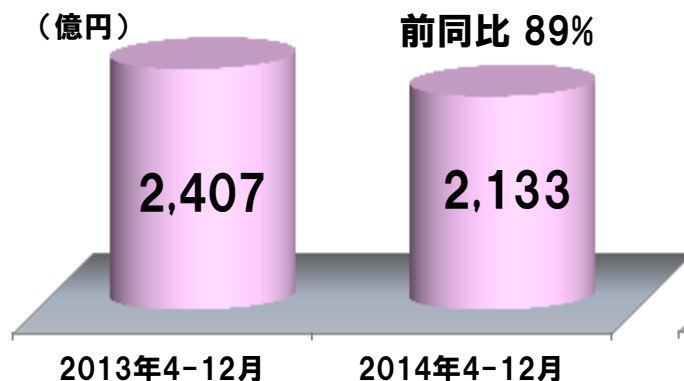
# 医薬品事業 地域別売上収益

## 日本を除く全リージョンで計画をほぼ達成



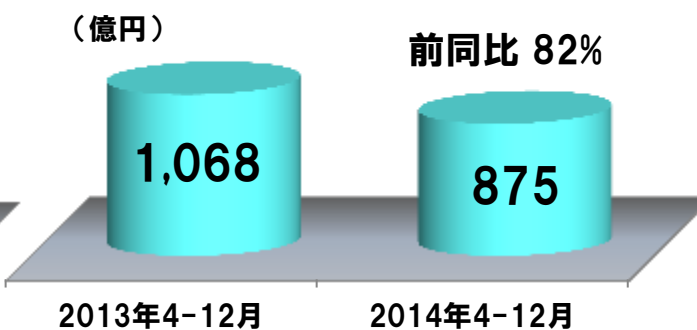
### 日本\*1

- ◆薬価改定・ジェネリック浸透の影響
- ◆3Q売上収益 2Q実績比112%



### アメリカス\*2

- ◆アシフェックスLOEの影響
- ◆Halaven、Aloxiは順調に伸長



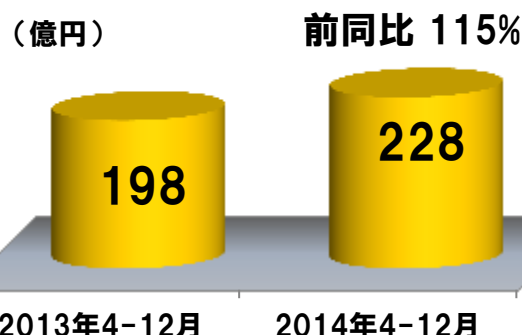
### 中国

- ◆主力2製品(アリセプト・メチコバル)が伸長



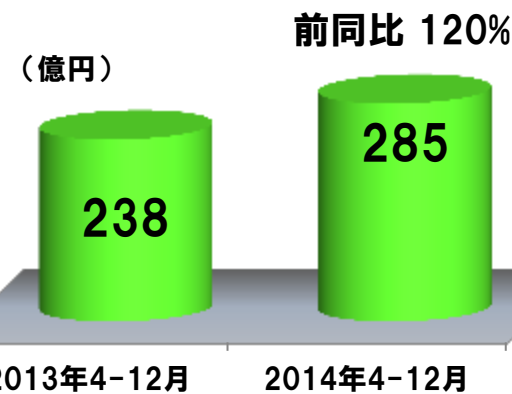
### アジア\*3

- ◆韓国が順調に拡大し、アジアを牽引



### EMEA\*4

- ◆Halavenが前年比138%と伸長



\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

\*2 北米、中南米

\*3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

\*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア



# 2014年度 連結業績見通し(IFRS)

## 中長期的なバランスシートマネジメントにより、安定配当を堅持



(億円、%)

	2013年度		2014年度			2014年度
	実績	売上比	見通し	売上比	前同比	5月開示数値
売上収益	5,995	100.0	5,550	100.0	93	5,660
売上原価	1,947	32.5	1,955	35.2	100	2,000
売上総利益	4,048	67.5	3,595	64.8	89	3,660
研究開発費	1,363	22.7	1,315	23.7	96	1,215
販売管理費等*1	2,021	33.7	1,980	35.7	98	1,915
営業利益	664	11.1	300	5.4	45	530
当期利益	385	6.4	350	6.3	91	350
Pharma EBIT*2	2,027	33.8	1,615	29.1	80	1,745
EPS(円)	134.1		122.0		91	122.4
ROE(%)	7.6		6.3			6.7
DOE(%)	8.5		7.7			8.2
配当金(円)	150		150			150

\*1 販売管理費等:販売管理費+その他の損益 \*2 Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

2013年度期中平均レート 米ドル:100.23円、ユーロ:134.36円、ポンド:159.44円、2014年度第4四半期予想レート 米ドル:119円、ユーロ:147.5円、ポンド:187.85円  
平成27年3月期第3四半期決算短信[IFRS]にて、平成27年3月期の連結業績予想を修正

# 日本医薬品事業は3Qから上昇基調へ アリセプトの新適応取得によるリバイバルが貢献



**2014年度3Q売上収益 737億円**  
**2Q実績比 112% (アリセプト 2Q実績比 119%)**

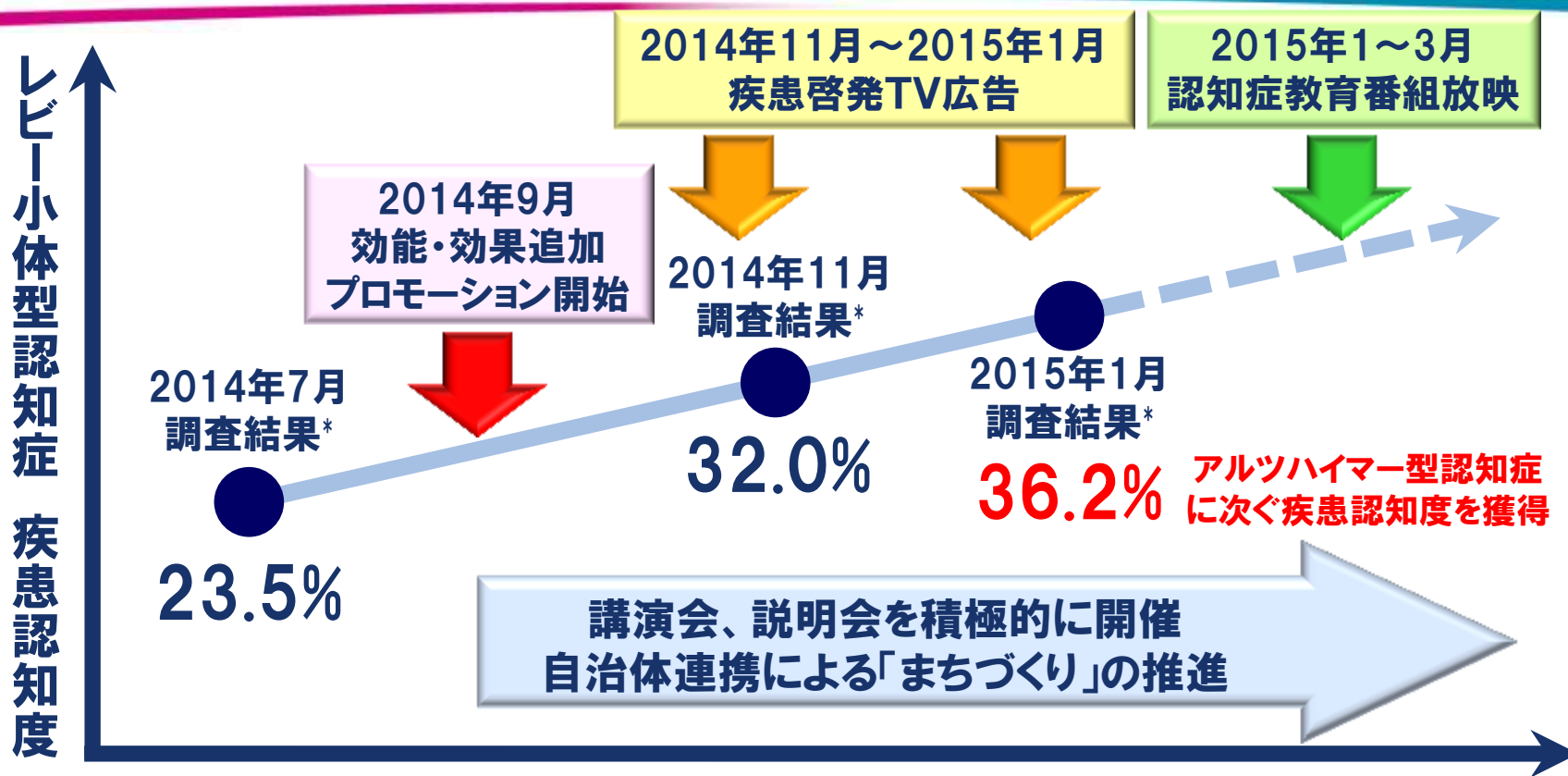


\* ハラヴェン、ヒュミラ、リリカ(アライアンス収入)、ルネスタ

# アリセプト リバイバル



## 疾患啓発活動によりレビー小体型認知症に対する認知度が向上



### レヴィー小体型認知症の特徴

進行性の認知機能低下に加えて、**認知機能の変動**や**幻視**、**パーキンソニズム**など特有の**症状を示すため、認知症と気づかれにくい**

認知症医療のパイオニアとして  
**レヴィー小体型認知症の正しい診断と治療・ケアを早期に定着させる責務を果たす**

\* 社外WEB調査からの推計(調査時期:2014年7月24日・2014年11月27日・2015年1月5日)

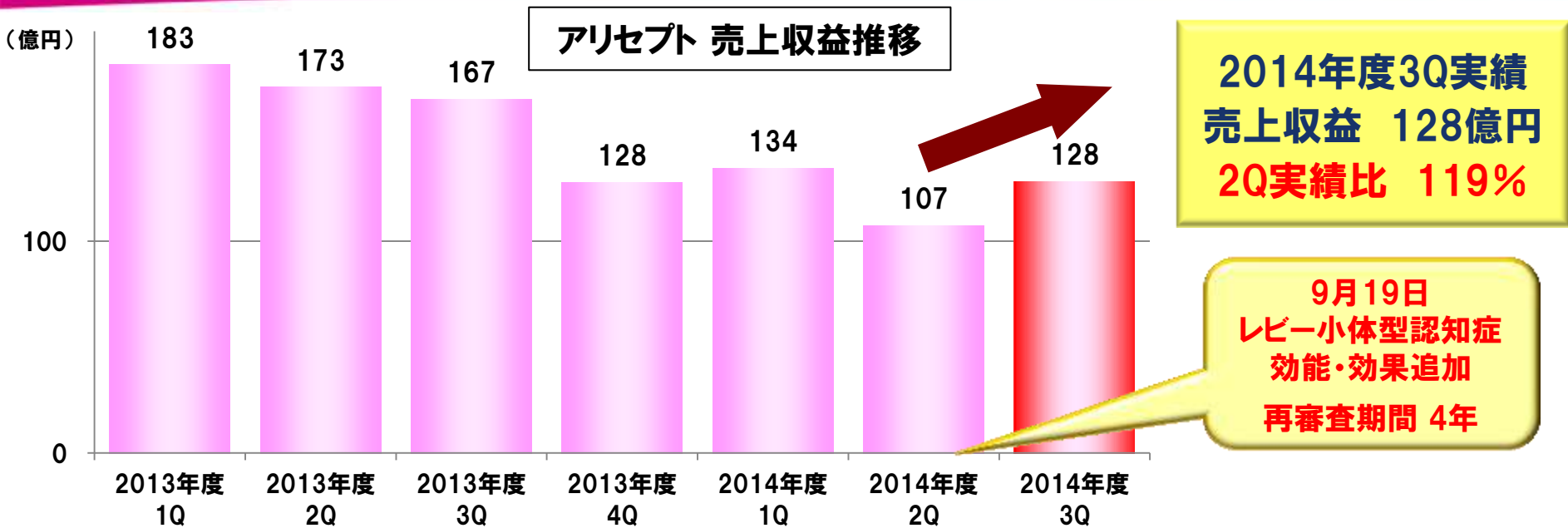
調査対象者:40歳以上の男女(医療・介護従事者、調査・広告従事者は除外)、2014年7月調査 618名・2014年11月調査 617名・2015年1月調査 618名

2015年1月調査での各疾患の認知度:アルツハイマー型認知症 99.8%、レヴィー小体型認知症 36.2%、脳血管性認知症 35.6%、前頭側頭型認知症 28.3%

# アリセプト リバイバル



## レビー小体型認知症の効能・効果追加以降は上昇基調へ



### レビー小体型認知症の効能・効果追加以降の医療機関の反応

新規採用施設数 **認知症疾患医療センター12施設を含む421施設**

今後、レビー小体型認知症の治療はアリセプトブランドで処方意向  
**大学病院125施設、認知症疾患医療センター153施設、その他医療機関12,353施設**

既に**約20,000人**のレビー小体型認知症の患者様に処方開始

(社内推計)

## 2014年12月26日 低用量アスピリン潰瘍再発抑制の新適応を取得

### 低用量アスピリン服用患者様の現状

- 狭心症、心筋梗塞、虚血性脳血管障害等における血栓・塞栓形成の抑制のため、国内で約400万人\*1の患者様が低用量アスピリンを服用
- 約1~2%で消化管出血、約10~20%で消化性潰瘍が発症\*2するが、心血管イベントの再発につながる恐れがあるため、休薬は困難

### パリエットの新適応

- ◆ 用法・用量(低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制の場合)  
通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして1回5mgを1日1回経口投与するが、効果不十分の場合は1回10mgを1日1回経口投与することができる。

#### ◆ 臨床成績

投与24週後の胃潰瘍または  
十二指腸潰瘍の累積再発率

	パリエット5mg群	パリエット10mg群	テプレノン群
症例数	150	151	151
累積再発例数	4	2	32
累積再発率	2.8%	1.4%	21.7%
p値	$p < 0.001$	$p < 0.001$	

#### ◆ 再審査期間 4年

新適応の取得と新剤形5mg錠\*3の追加(2月上市予定)により、パリエットの臨床的価値が向上  
酸関連疾患の患者様の治療に対し、さらなる貢献を果たす

\*1 社内推計    \*2 出典:BMJ 321: 1183-1187, 2000, Arch Intern Med 162: 2197-2202, 2002, Aliment Pharmacol Ther 22: 795-801, 2005  
\*3 ラベプラゾールでは先発品のパリエットのみの剤形

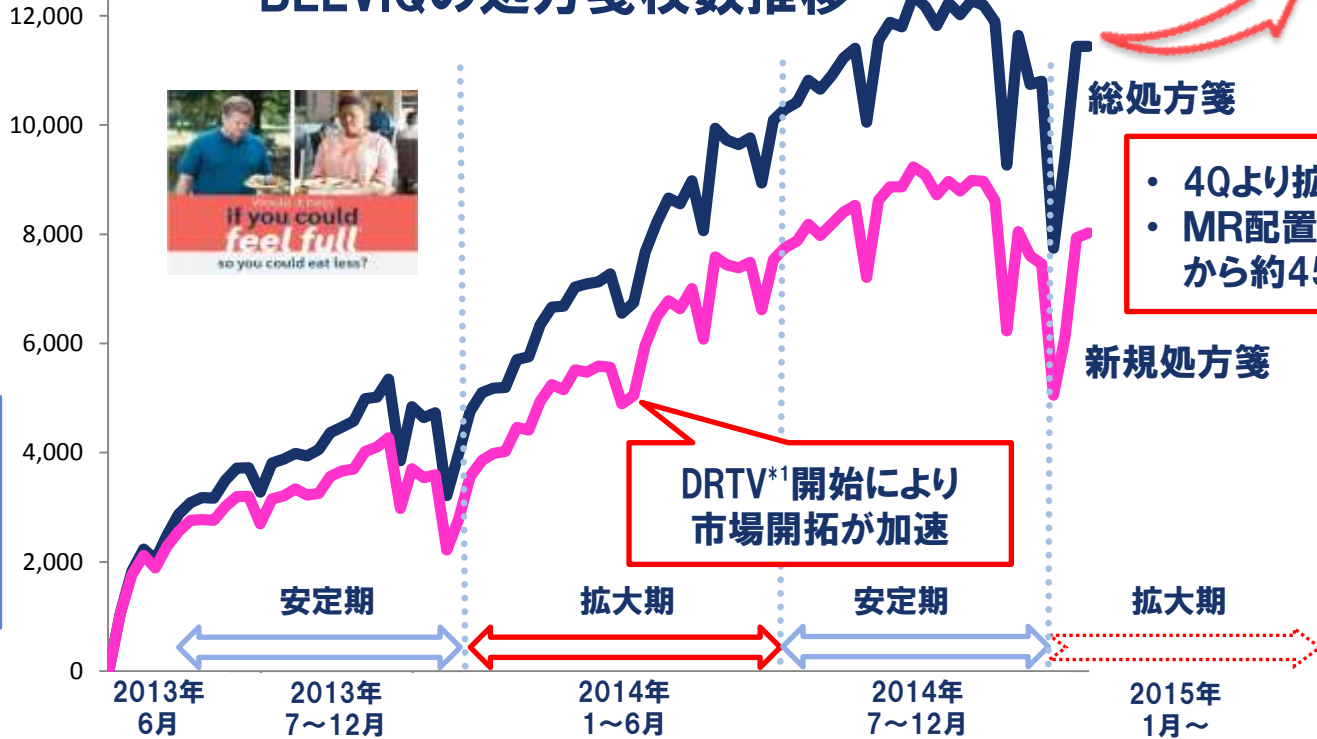
# BELVIQ 飛躍へ

## 肥満症治療における市場開拓を加速



(枚)

### BELVIQの処方箋枚数推移



肥満症治療薬市場は  
7~12月より  
1~6月に  
拡大傾向の特徴

- 4Qより拡大期へ
- MR配置を約600名から約450名に最適化

DRTV\*1開始により  
市場開拓が加速

出典:IMS NPA



### 成長を支える3つの鍵

#### 患者様

アクセスの加速と  
経済的ベネフィットの向上

薬剤費負担を上限\$75/月に  
設定するプログラムを4Qより導入

#### 医師

上市以来69,000名以上の医師が  
BELVIQを処方\*2

肥満症における薬物治療の  
意義を訴求

#### 保険カバレッジ

年度目標の70%を概ね達成\*3

雇用保険のカバレッジは  
2Q末の1250万から  
約1700万Livesまで拡大



# Fycompa 価値最大化



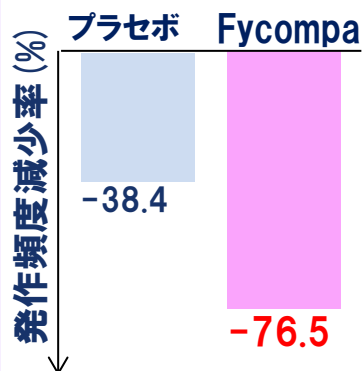
## 全般てんかん(強直間代発作\*1)

Fycompa<sup>®</sup>  
perampanel

2014年8月 全般てんかん適応症追加 米国・欧州で申請

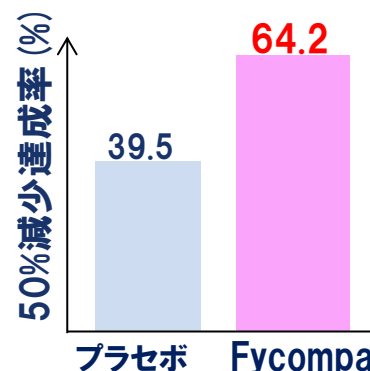
PDUFA\*2アクション・デート(米国):2015年6月19日

2014年12月 第68回米国てんかん学会において  
全般てんかんの併用療法に関するフェーズIII試験(332試験)結果を発表



米国申請用主要評価項目  
発作頻度変化率

統計学的有意に改善  
( $P < 0.0001$ )



EU申請用主要評価項目  
発作頻度50%減少達成率

統計学的有意に改善  
( $P < 0.01$ )

## 部分てんかん

43カ国で承認取得 (2015年1月時点)

日本、中国を含むアジアにおける難治性部分てんかんを対象としたフェーズIII試験で主要評価項目を達成

2015年度上期 日本での申請に向けて本格的に準備を開始



# 成長するHalaven

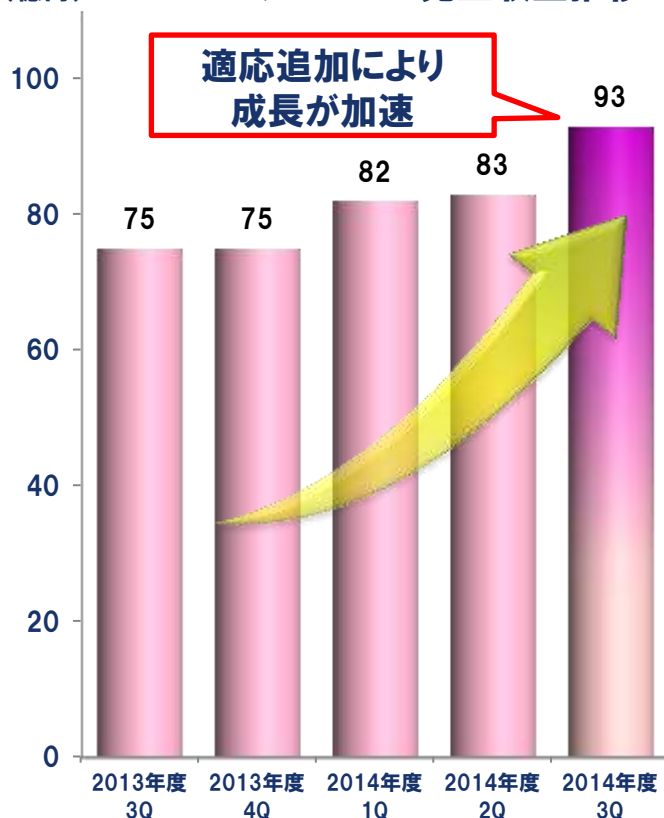


## 第3四半期累計 売上収益258億円（前同比121%）

### MBC<sup>\*1</sup>適応で世界58カ国で承認取得（2015年1月時点）

欧州（EMA<sup>\*2</sup>）に続きロシア、スイス、モロッコ、イスラエル、タイ、フィリピン、香港、韓国の8カ国で  
転移性乳がんセカンドライン治療の適応を取得

（億円） Halaven グローバル売上収益推移



### EMEA<sup>\*3</sup>

## 第3四半期累計 売上収益84億円(前同比138%)

### 欧州における転移性乳がんセカンドライン治療の 適応取得により成長が加速

- 9月に発行されたASCO<sup>\*4</sup>およびESMO<sup>\*5</sup>ガイドラインに基づき早期ライン治療でのHalavenの有用性を訴求
- 同様の適応症を有する日本、アジアにおいて欧州の成功事例をレバレッジ早期ライン治療でのポジショニング確立をめざす

### アメリカス<sup>\*6</sup>

## 第3四半期累計 売上収益119億円(前同比121%)

### HER2ネガティブの患者様貢献に注力した活動で2桁成長を達成

### 軟部肉腫

フェーズIII試験進行中  
2014年度内にトップライン結果取得予定  
**2015年度申請予定**

\*1 Metastatic Breast Cancer

\*2 European Medicines Agency

\*3 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

\*4 American Society of Clinical Oncology

\*5 European Society for Medical Oncology

\*6 北米、中南米

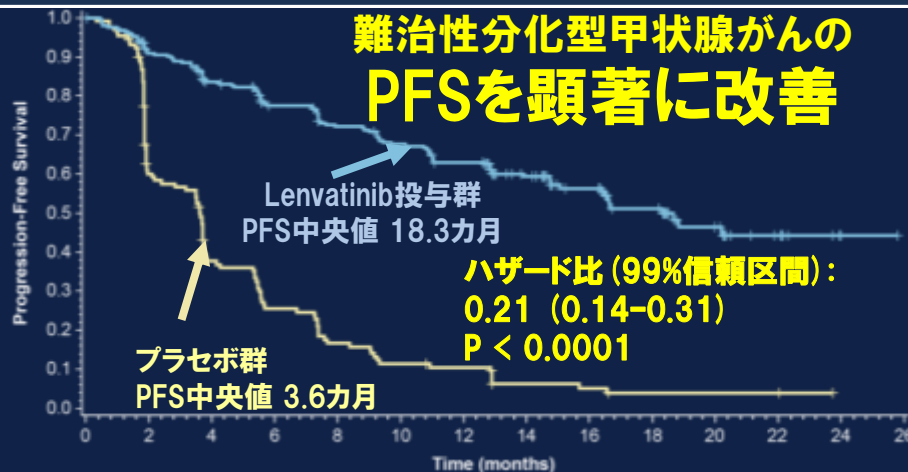


# Lenvatinibの速やかで長期にわたる卓越した治療効果 新規な結合様式で3つの分子(VEGFR+FGFR+RET)を特異的に阻害



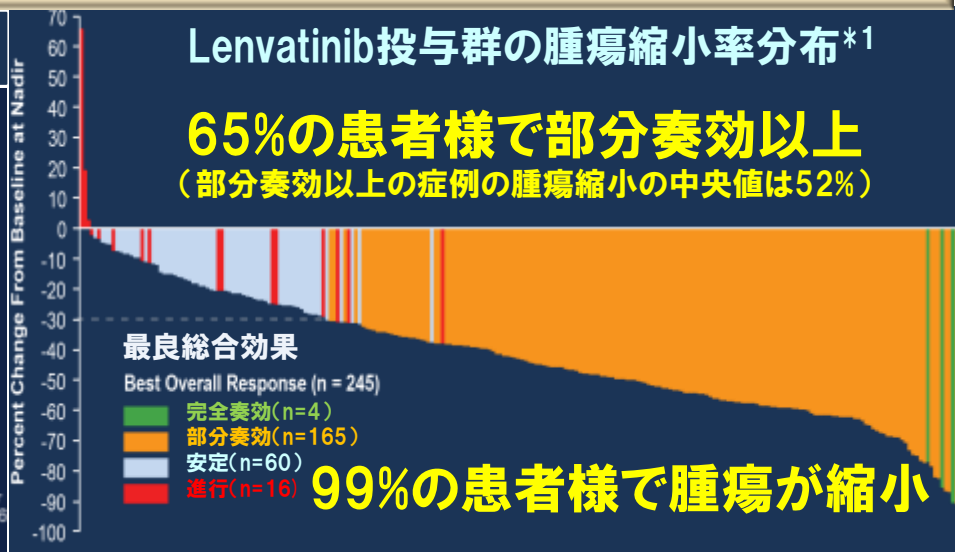
## フェーズIII試験(SELECT試験)の非常に良好な結果

主要評価項目: 無増悪生存期間(PFS)\*1



Lenvatinib投与群の腫瘍縮小率分布\*1

**65%の患者様で部分奏効以上**  
(部分奏効以上の症例の腫瘍縮小の中央値は52%)



## 速やかに発揮される治療効果\*1

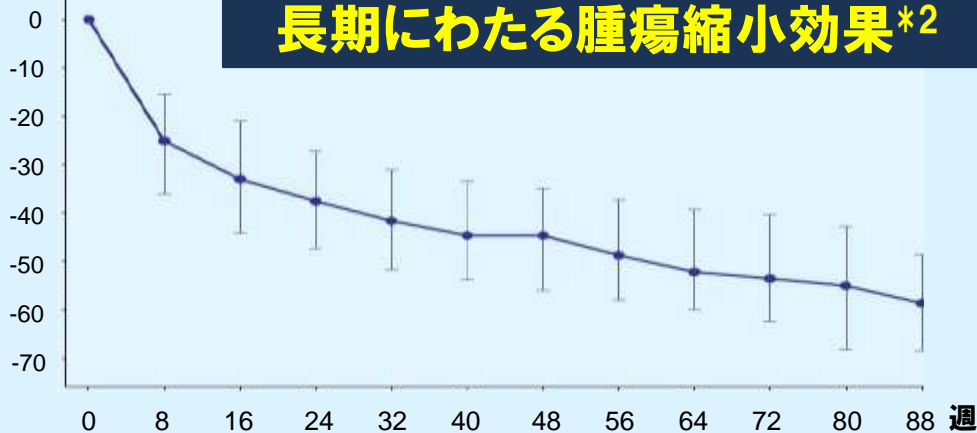
部分奏効以上になるまでの  
期間の中央値 (Lenvatinib投与群)

**2カ月**\*3

(95% 信頼区間: 1.9 - 3.5 カ月)

## 長期にわたる腫瘍縮小効果\*2

ベースラインからの  
腫瘍サイズの変化(%)



\*1 2014 ASCO (American Society of Clinical Oncology) Annual Meetingで発表

\*2 ESMO (European Society for Medical Oncology) Congress 2014で発表

\*3 最初の増悪判定のタイミング

# Lenvatinib

## 価値最大化へ向けた開発状況



### 甲状腺がん

日本6月、欧米8月申請達成

3極でオーファン指定取得済み、優先審査対象  
(PDUFA\*アクション・デート(米国):2015年4月14日)

2014~15年度に  
グローバル承認を  
見込む

スイス(10月)、韓国(11月)、  
カナダ、シンガポール、ロシア(12月)でも申請達成

ブラジル、オーストラリアなど順次申請予定

### 肝細胞がん

2016年度申請予定

フェーズIII試験(304試験)が順調に進行中

Lenvatinib vs ソラフェニブ

主要評価項目:全生存期間(OS)

副次評価項目:無増悪生存期間(PFS)

### 腎細胞がん

フェーズII試験で、極めて良好な結果を取得

### 免疫チェックポイント阻害剤との併用

前臨床試験で、抗PD-1抗体、  
抗PD-L1抗体との併用効果を確認

### 非小細胞肺癌

2つのフェーズII試験進行中

### 子宮内膜がん

フェーズII試験進行中

# 持続的成長を支えるパイプライン 次世代アルツハイマー型認知症治療剤の開発



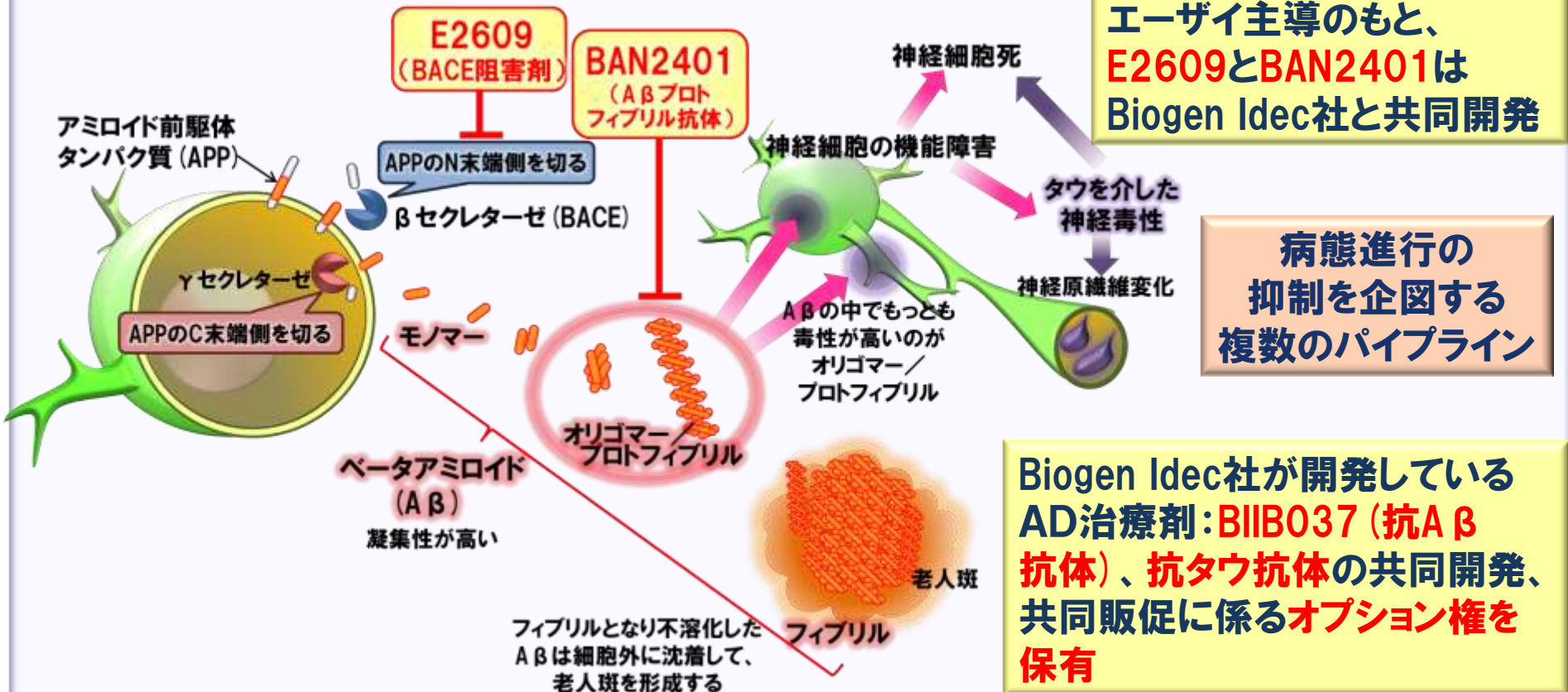
**E2609** 自社創製のBACE\*阻害剤

**11月にフェーズII試験開始**  
2015年度中に安全性に関する  
トプライン結果取得予定

**BAN2401**

A $\beta$ プロトフィブリルの  
新規モノクローナル抗体

フェーズII試験が順調に進行中  
2015年度トプライン結果取得予定



\* BACE:  $\beta$ セクレターゼ

# 中国リージョンの新設 さらなる事業拡大の加速



今後5年間の年平均成長率11.5%<sup>\*1</sup>が見込まれる中国医薬品市場において患者様貢献の最大化をめざす

## 中国リージョン新設

### 中国オートノミーモデルを確立

- ・ローカルマネジメントによる迅速な意思決定
- ・CEOオフィスへのダイレクトレポート体制

5年間の中国売上収益推移



### 2014年11月 衛材(中国)投資有限公司設立

- ・中国子会社2社<sup>\*2</sup>を統括、戦略立案・実行
- ・財務、経理、リーガル、コンプライアンスの機能強化
- ・戦略的投資を視野に入れたフレキシブルな資金管理体制を整備

### 2014年11月 蘇州注射剤生産工場の竣工

- ・主力製品であるメチコバル注射剤の安定供給体制を構築



蘇州注射剤生産工場

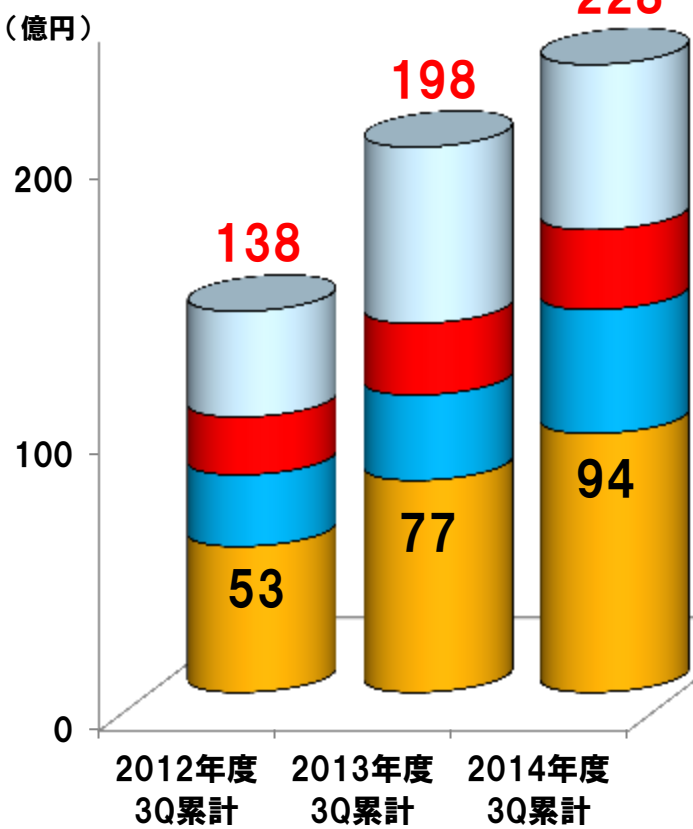
# ニューアジアリージョン\*1の続伸 売上収益、営業利益ともに2桁成長を持続



## アジア売上収益推移

- その他
- タイ
- 台湾
- 韓国

前同比115%  
228



### Fycompa

アジア初の上市達成

上市	香港(11月)
承認取得	台湾、マレーシア、シンガポール、タイ
申請中	フィリピン、インド、インドネシア、韓国

### Halaven

累計1400名超の患者様に貢献

価格政策

適応拡大

Tiered Pricing 適用による患者様のための支援プログラムのさらなる推進  
適用国: インド、タイ、フィリピン、マレーシア、香港、シンガポール

転移性乳がんセカンドライン適応取得:  
タイ、フィリピン、香港、韓国

患者様貢献の最大化へ

## 新たな市場としてのベトナム、ミャンマー

事業拡大による売上急伸(前同比131%)\*2








現地の医療技術向上への積極的な協力を通じて、患者様貢献を拡大

\*1 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等 \*2 ベトナムとミャンマーの合計の売上



# ストラテジックマーケット<sup>\*1</sup>における事業拡大 グローバルブランドが順調に申請、上市を達成



	Halaven  <small>(eribulin mesylate) injection</small>	Fycompa  <small>perampanel</small>	Lenvatinib
ロシア 	上市(2013年9月) 転移性乳がん2ndライン適応 承認(2014年11月)	上市(2014年6月) 全般てんかん適応 <sup>*2</sup> 申請(2014年11月)	申請(2014年12月)
ブラジル 	上市(2014年11月)	申請(2013年9月)	申請予定
メキシコ 	承認(2014年8月)	承認(2014年11月)	申請予定
カナダ 	上市(2012年3月)	上市(2013年5月)	申請(2014年12月)
オーストラリア 	上市(2014年10月)	上市(2014年11月)	オーファンドラッグ指定 (2014年11月) 申請予定

\*1 ロシア、ブラジル、メキシコ、カナダ、オーストラリア

\*2 全般てんかんの最も重篤な発作型の一つである強直間代発作(二次性全般化発作を除く、PGTC)

# 2015年度以降の飛躍に向けて



## グローバルブランドの力強い成長



高成長  
の継続



価値  
最大化



市場開拓  
の加速

Lenvatinib  
グローバル上市

## 日本医薬品事業の復活



レビー小体型認知症



低用量アスピリン潰瘍再発抑制



再発乳がん

Lenvatinib  
甲状腺がん

## プロダクト クリエーションの着実な進行

Halaven

Fycompa

BELVIQ

Lenvatinib

BAN2401

E2609

E2006\*

## ストラテジックマーケットの成長拡大



ロシア



ブラジル



メキシコ



カナダ



オーストラリア

費用対効果を勘案した戦略的投資により  
2015年度以降 売上、利益ともに成長回帰をめざす

\* 不眠症治療剤

hbc  
human health care

# 参考資料

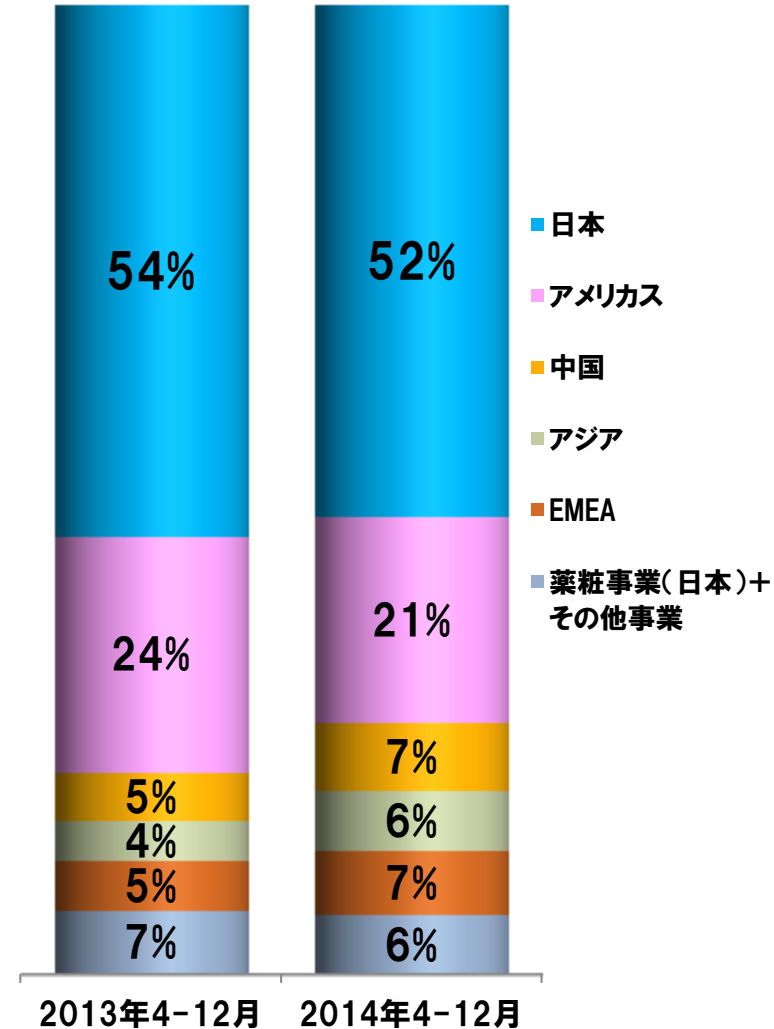


# セグメント売上収益



(億円、%)

	2013年4月-12月		2014年4月-12月		
	売上収益	構成比	売上収益	構成比	前同比
日本*1	2,407	54.1	2,133	52.2	89
アメリカス*2	1,068	24.0	875	21.4	82
中国	236	5.3	300	7.4	127
アジア*3	198	4.4	228	5.6	115
EMEA*4	238	5.4	285	7.0	120
薬粧事業(日本)*5	145	3.3	132	3.2	91
報告セグメント計	4,291	96.4	3,954	96.8	92
その他事業	160	3.6	131	3.2	82
連結売上収益	4,451	100.0	4,085	100.0	92



日本、アメリカス、中国、アジア、EMEAは医薬品事業

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬 \*2 北米、中南米 \*3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

\*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア \*5 一般用医薬品

# セグメント利益



(億円、%)

	2013年4月-12月			2014年4月-12月			
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前同比
日本*1	1,222	75.2	50.8	959	73.7	45.0	78
アメリカス*2	173	10.7	16.2	110	8.5	12.6	64
中国	59	3.7	25.2	83	6.4	27.6	139
アジア*3	44	2.7	22.2	55	4.2	24.0	125
EMEA*4	35	2.1	14.5	48	3.7	16.9	139
薬粧事業(日本)*5	28	1.8	19.7	12	0.9	9.1	42
報告セグメント計	1,561	96.1	36.4	1,266	97.3	32.0	81
その他事業	64	3.9	40.0	35	2.7	26.7	55
研究開発費および親会社の本社管理費等	△1,174			△1,063			
連結営業利益	451		10.1	238		5.8	53

日本、アメリカス、中国、アジア、EMEAは医薬品事業

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

\*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

\*2 北米、中南米

\*5 一般用医薬品

\*3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

# 日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2013年4-12月		2014年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	2,407	100.0	2,133	100.0	89
医療用医薬品計	2,191	91.0	1,895	88.8	86
アリセプト	523	21.7	370	17.3	71
パリエット*1	369	15.3	288	13.5	78
ヒュミラ	223	9.3	228	10.7	102
メチコバル	196	8.2	172	8.1	88
リリカ*2	138	5.7	160	7.5	116
ワーファリン	75	3.1	67	3.1	89
アクトネル	60	2.5	52	2.4	86
ハラヴェン	50	2.1	45	2.1	91
セルベックス	53	2.2	37	1.7	70
ルネスタ	20	0.8	34	1.6	167
ジェネリック医薬品	171	7.1	194	9.1	113
診断薬	44	1.8	44	2.1	100
セグメント利益	1,222	50.8	959	45.0	78

\*1 ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキア400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含む

\*2 アライアンス収入

# アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

	2013年4-12月		2014年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	1,068	100.0	875	100.0	82 [76]
Aloxi	322	30.1	362	41.4	113 [105]
ハラヴェン	99	9.3	119	13.6	121 [112]
アシフェックス	334	31.3	94	10.8	28 [26]
Banzel	56	5.3	73	8.4	131 [122]
BELVIQ	17	1.6	39	4.5	236 [219]
Fycompa	0	0.0	9	1.0	3709 [3472]
セグメント利益	173	16.2	110	12.6	64 [60]

[ ]内は現地通貨ベース

# 中国、アジア医薬品事業の業績



## <中国>

(億円、%)

	2013年4月-12月		2014年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	236	100.0	300	100.0	127 [120]
メチコバール	105	44.4	130	43.2	124 [116]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	38	16.1	49	16.3	129 [121]
アリセプト	28	11.7	34	11.4	124 [116]
パリエット	16	6.8	21	7.0	131 [123]
セグメント利益	59	25.2	83	27.6	139 [125]

[ ]内は現地通貨ベース

## <アジア\*>

(億円、%)

	2013年4-12月		2014年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	198	100.0	228	100.0	115 [108]
アリセプト	61	31.0	68	29.9	111 [102]
ヒュミラ	53	26.6	60	26.4	114 [105]
パリエット	26	13.0	27	11.9	106 [100]
メチコバール	17	8.9	20	8.6	112 [108]
ハラヴェン	3	1.6	8	3.6	269 [251]
セグメント利益	44	22.2	55	24.0	125 [114]

\* 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

[ ]内は現地通貨ベース

*hbc*  
human health care

# EMEA医薬品事業、薬粧(一般用医薬品等)の業績



## <EMEA\*>

(億円、%)

	2013年4-12月		2014年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	238	100.0	285	100.0	120 [112]
ハラヴェン	61	25.7	84	29.6	138 [129]
ゾネグラン	49	20.6	61	21.5	126 [117]
Zebinix	18	7.4	24	8.4	136 [127]
Fycompa	10	4.1	17	6.1	177 [164]
イノベロン	14	5.9	16	5.6	114 [107]
セグメント利益	35	14.5	48	16.9	139 [131]

\* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

[ ]内は現地通貨ベース

## <薬粧-日本>

(億円、%)

	2013年4-12月		2014年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	145	100.0	132	100.0	91
チョコラBBグループ	92	63.7	83	62.7	90
セグメント利益	28	19.7	12	9.1	42

# 2013年度第3四半期連結業績 IFRS導入の影響



(億円)

	売上 収益	売上 原価	研究 開発費	販売 管理費	その他 損益	営業 利益	営業外 損益 特別損益	金融 損益	税金 費用	四半期 利益
日本基準	4,480	1,416	1,062	1,575	-	428	18	-	149	295
販売奨励費の販売管理費から 売上控除への調整	△15			△15		-				-
導入品に係る販売権償却費の 追加計上		8				△8			△3	△5
構造改革費用の調整		51	27	49		△127	△11		△44	△72
導入品に係る契約一時金 およびマイルストンの資産化			△53			53			20	33
のれんの非償却化				△70		70				70
為替差損の振替					△7	△7	7			-
固定資産売却益の振替					31	31	△31			-
受取利息・配当金および支払利息の振替						-	30	△30		-
投資有価証券売却益(特別利益)の振替						-	△34	2	△13	△19
その他	△14	△0	△2	△20	4	12	20	△2	32	△24
調整計	△29	59	△28	△56	27	23	△18	△30	△8	△17
IFRS	4,451	1,475	1,034	1,518	27	451	-	△30	142	280